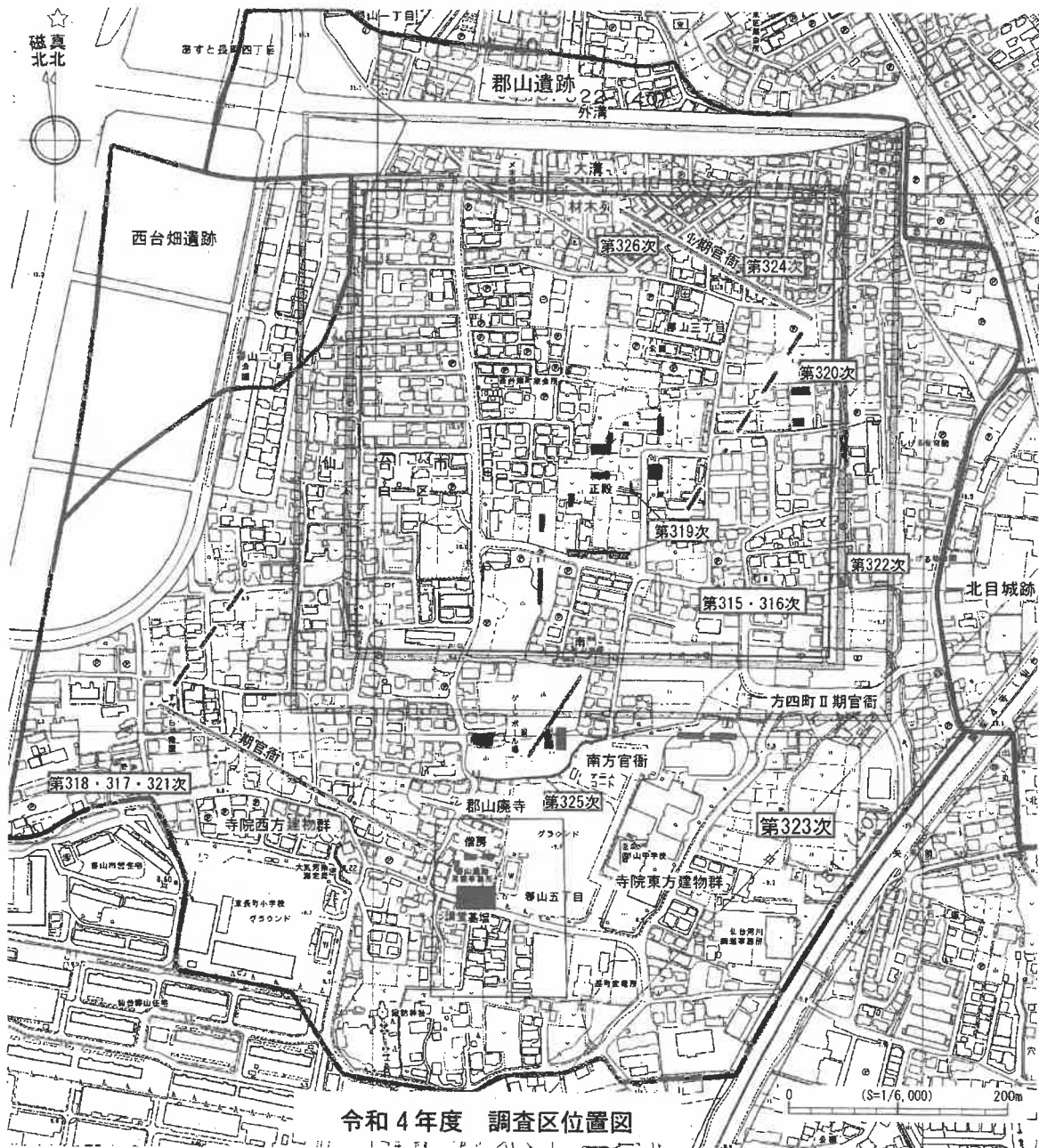


令和4年度 郡山遺跡・陸奥国分寺跡 調査成果概要

調査次数	調査地区	調査面積	調査期間	調査原因	対応
郡山遺跡第315次	方四町Ⅱ期官衙東部	14.0	令和4年1月17日～1月21日	個人住宅建築	郡山遺跡ほか調査
郡山遺跡第316次	方四町Ⅱ期官衙東部	28.8	令和4年3月14日～3月18日	個人住宅建築	郡山遺跡ほか調査
郡山遺跡第317次	郡山遺跡南西部	21.3	令和4年2月14日～2月17日	個人住宅建築	郡山遺跡ほか調査
郡山遺跡第318次	郡山遺跡南西部	15.0	令和4年4月19～4月22日	個人住宅建築	郡山遺跡ほか調査
郡山遺跡第319次	方四町Ⅱ期官衙中枢部	200.0	令和4年5月16日～7月21日	遺構確認	範囲確認調査
郡山遺跡第320次	方四町Ⅱ期官衙東部	280.0	令和4年6月23日～9月30日	共同住宅建築	開発に伴う事前調査
郡山遺跡第321次	郡山遺跡南西部	20.0	令和4年7月21～7月28日	個人住宅建築	郡山遺跡ほか調査
郡山遺跡第322次	Ⅱ期官衙東辺大溝	17.0	令和4年9月12～9月14日	個人住宅建築	郡山遺跡ほか調査
郡山遺跡第323次	南方官衙東地区	12.0	令和4年10月17～10月19日	個人住宅建築	郡山遺跡ほか調査
郡山遺跡第324次	方四町Ⅱ期官衙北部	15.0	令和4年10月27日～11月2日	個人住宅建築	郡山遺跡ほか調査
郡山遺跡第325次	Ⅰ期官衙東辺	7.0	令和4年12月12～14日	深さ確認	開発に伴う事前調査
郡山遺跡第326次	方四町Ⅱ期官衙北部	12.0	令和4年12月12～16日	個人住宅建築	郡山遺跡ほか調査
陸奥国分寺跡第32次	寺地北部	150.0	令和4年10月17日～12月5日	遺構確認	範囲確認調査



郡山遺跡第 315・316 次調査

1. 調査要項

調査地点 仙台市太白区郡山三丁目 205 番地 13・3

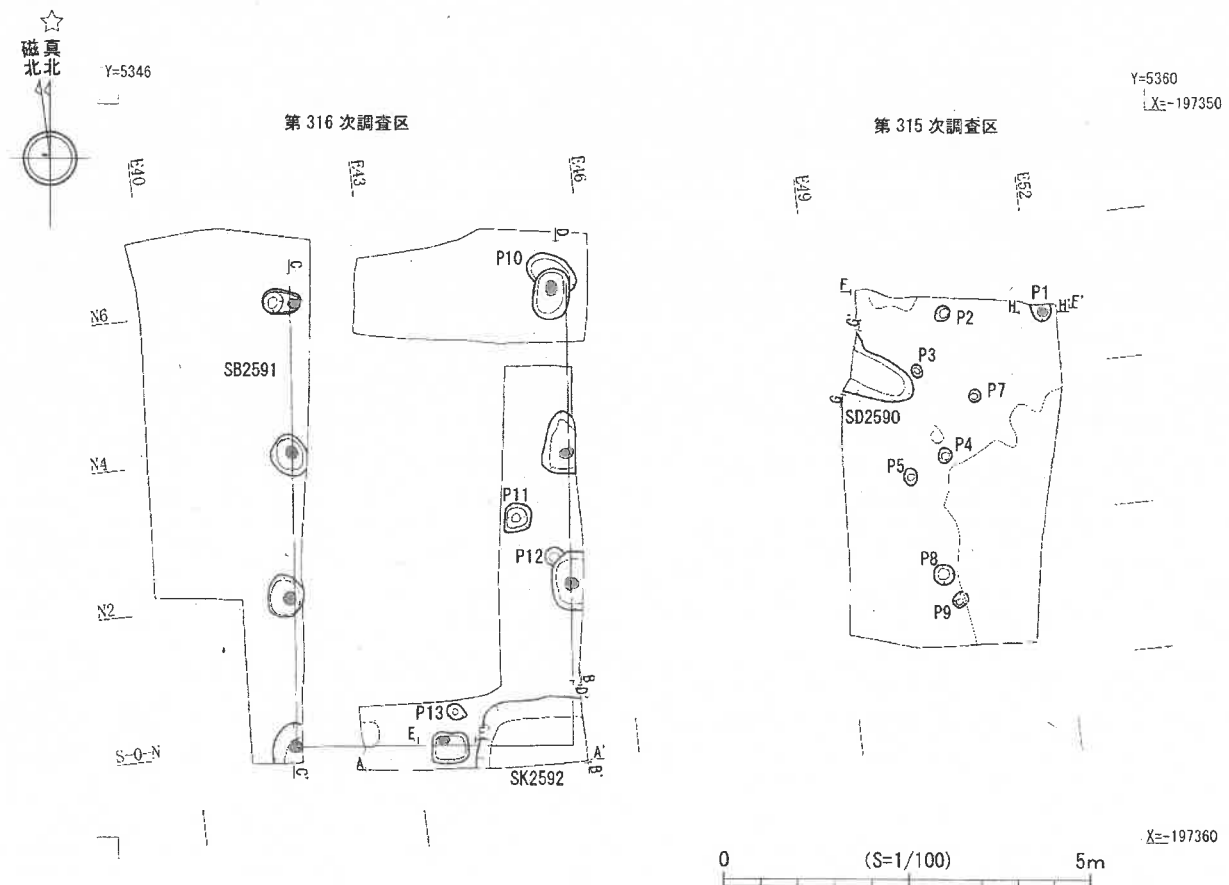
調査期間 令和 4 年 1 月 17 日～1 月 21 日 (315 次)・3 月 14 日～3 月 18 日 (316 次)

調査原因 個人住宅建築に伴う発掘調査 調査面積 約 14 m² (315 次)・約 28 m² (316 次)

2. 調査概要

調査地点は方四町Ⅱ期官衙東部に位置する。検出遺構は掘立柱建物跡 1 棟、溝跡 1 条、土坑 1 基、性格不明遺構 1 基、ピット 12 基である。検出された掘立柱建物跡 (SB2591) は東西梁行 2 間 (総長 3.7m)、南北桁行 3 間以上 (総長 6.1m 以上) の側柱建物跡で柱筋は真北方向を基準として造営されており、Ⅱ期官衙の時期に属すると推定される。柱穴掘方の規模は一辺 30～80 cm と中枢部の建物の掘り方と比べ規模が小さい。調査区南側 10m に位置する昭和 54 年度調査区 (以下「S54」) でも同時期の掘立柱建物跡が検出されており、雑舎が立ち並んでいた可能性がある。

S54-1' 号建物跡は柱抜取穴を伴い多量の焼土・炭化物が混入することから焼失したと推定されている。今回、検出された SB2591 建物跡の柱穴掘方埋め土には少量の焼土を含んでいることから、S54-SB1 建物跡の焼失後に造営された可能性がある。



第 315・316 次調査 平面図

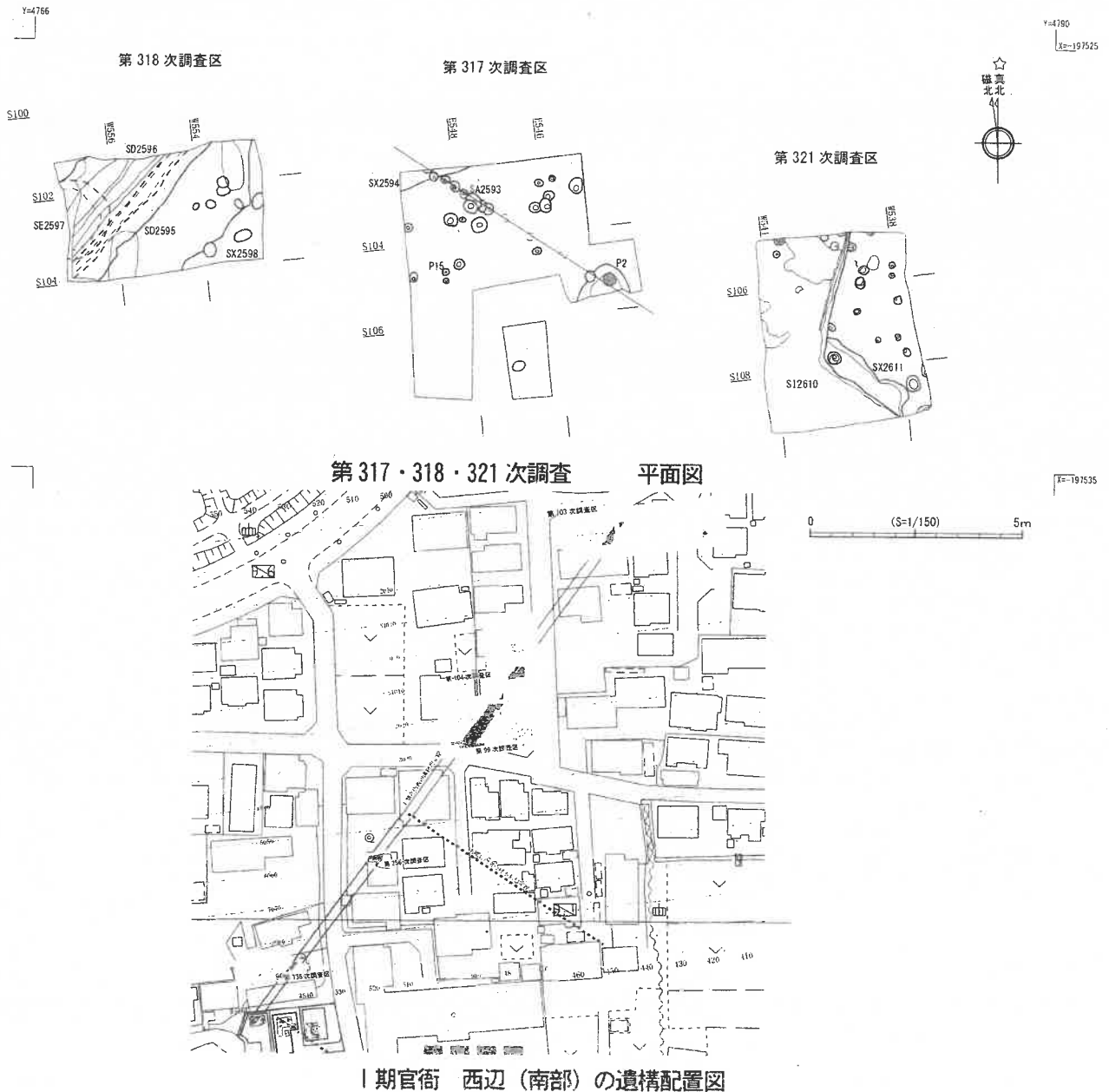
郡山遺跡第 317・318・321 次調査

1. 調査要項

- 調査地点 仙台市太白区郡山 6 丁目 30-5, 30-7 (317 次)・6 丁目 30-4 (318 次)・6 丁目 30-6 (321 次)
- 調査期間 令和 4 年 2 月 14 日～2 月 17 日 (317 次)・4 月 19～4 月 22 日 (318 次)・7 月 21～7 月 28 日 (321 次)
- 調査原因 個人住宅建築に伴う発掘調査
- 調査面積 約 21 m² (317 次)・約 15 m² (318 次)・約 20 m² (321 次)

2. 調査概要

調査地点は遺跡南西部に位置する。検出遺構は材木列跡 1 列、竪穴遺構 1 基、溝跡 2 条、井戸跡 1 基、性格不明遺構 2 基、柱穴 1 基等である。調査区は I 期官衙の西辺南側延長に位置し、遺跡の南端に位置する。本調査では I 期官衙西辺延長で同一方向の溝跡 (SD2596) とそれに直交する材木列跡 (SA2593) が検出された。また、これら区画施設より新しい竪穴遺構 (SI2610) は L 字型を呈しており、底面上には炭化物が多く分布していることから鍛冶関連の施設である可能性がある。L 字型の住居跡は II 期官衙の中核部で検出されているが、建物方向から I 期官衙に属する可能性もある。周辺での調査事例が乏しいため、積極的な評価は難しいが、周辺の調査の蓄積を待って検討すべき課題である。



I 期官衙 西辺 (南部) の遺構配置図

郡山遺跡第 320 次調査

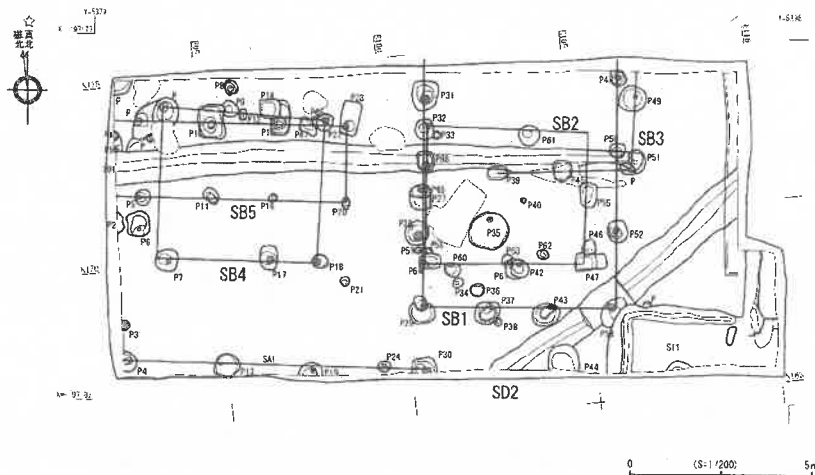
1. 調査要項

調査地点 仙台市太白区郡山3丁目3-1, 3-6
調査原因 共同住宅建築に伴う発掘調査

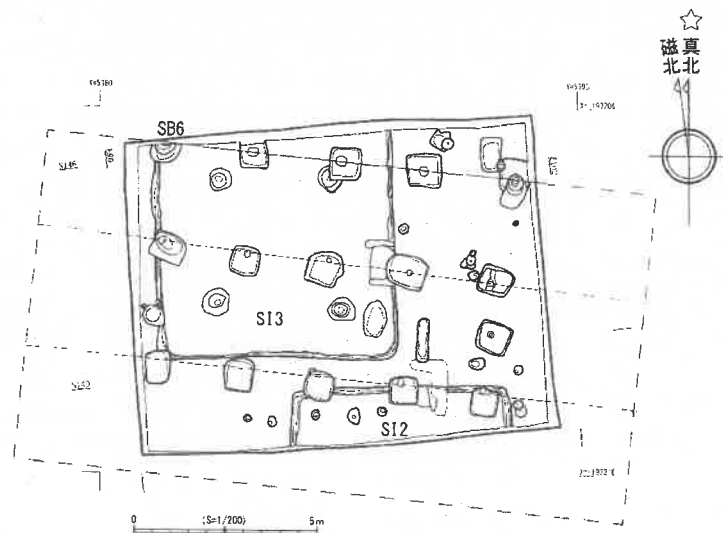
調査期間 令和4年6月20日～9月30日
調査面積 300㎡ (1区:約200㎡、2区:約100㎡)

2. 調査概要

調査地点は方四町Ⅱ期官衙東部に位置する。検出遺構は柱列跡1列、掘立柱建物跡6棟、竪穴住居跡3軒、溝跡2条等である。検出された竪穴住居跡はⅡ期官衙の時期に属すると考えられ、いずれもカマド袖部に母材とした切石凝灰岩が検出された。また、2区で検出された掘立柱建物跡(SB6)は掘方一辺100cmで、柱痕跡の直径20～30cmと大きな規模を持つ。建物方向が真北より東へ6°ほど傾くため、その時期については検討を要する。南側には2列の等間隔に配置される柱穴が配置されており、これらの柱穴規模は北柱列に比べ、小規模であるため東柱と考えられ、調査区外南側に南桁行があったと推定される。



第320次調査 1区 平面図



第320次調査 2区 平面図

郡山遺跡第 322 次調査

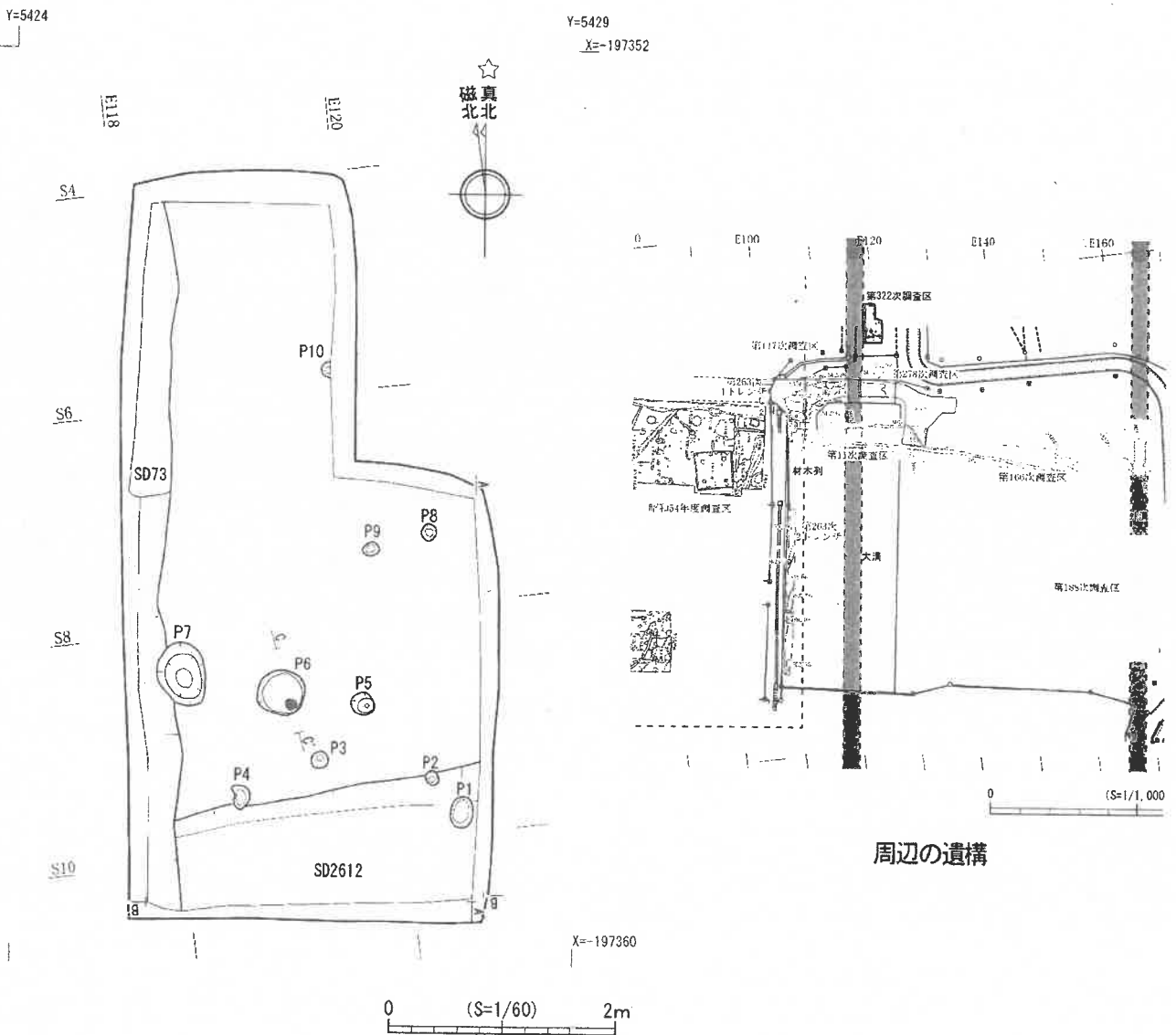
1. 調査要項

調査地点 仙台市太白区郡山三丁目 204 番 3
 調査原因 個人住宅建築に伴う発掘調査

調査期間 令和 4 年 9 月 12 日～9 月 14 日
 調査面積 約 17 m²

2. 調査概要

調査地点は方四町Ⅱ期官衙東辺大溝上に位置する。検出遺構は溝跡 2 条、ピット 10 基である。2 条の溝跡のうち、南北方向の溝跡 (SD73) は方四町Ⅱ期官衙東辺大溝の一部と考えられる。また、重複する溝跡 (SD2612) も底面近くから埋め戻されており、Ⅱ期官衙の造営直前まで機能していたか、Ⅱ期官衙造営に関わる遺構であると考えられる。今後、延長部分での調査を待つて機能について検討していく。



第 322 次調査 平面図

郡山遺跡第 323 次調査

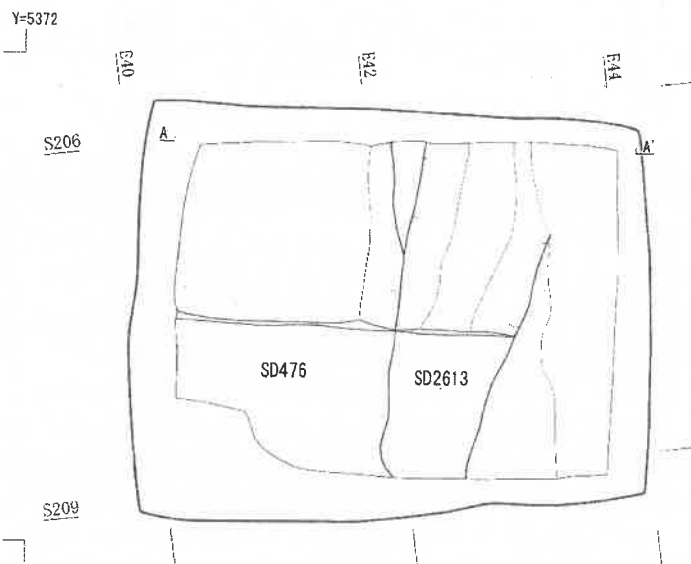
1. 調査要項

調査地点 仙台市太白区郡山五丁目 214 番 53
調査原因 個人住宅建築に伴う発掘調査

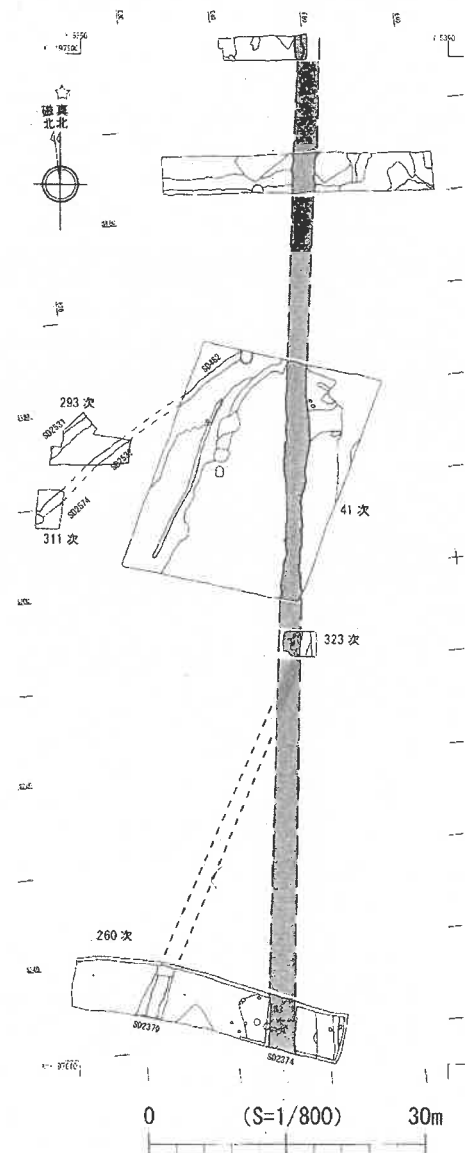
調査期間 令和 4 年 10 月 17 日～10 月 19 日
調査面積 約 12 m²

2. 調査概要

調査地点はⅡ期官衙南方官衙東地区に位置する。検出遺構は溝跡 2 条である。このうち SD476 溝跡はⅡ期官衙に関わる区画施設の可能性がある。延長上では第 41・260 次調査等で確認されており、総長 110m 以上に及ぶ。また、SD476 より古い SD2613 は延長上の第 260 次調査でも同規模の遺構が確認されており、何らかの区画施設であった可能性がある。しかし、溝跡の方向がⅠ・Ⅱ期いずれの造営基準とも異なっているため、遺構の評価については周辺での調査の増加を待つ必要がある。



第 323 次調査 平面図



周辺の調査区

郡山遺跡第 324 次調査

1. 調査要項

調査地点 仙台市太白区郡山三丁目 35-94

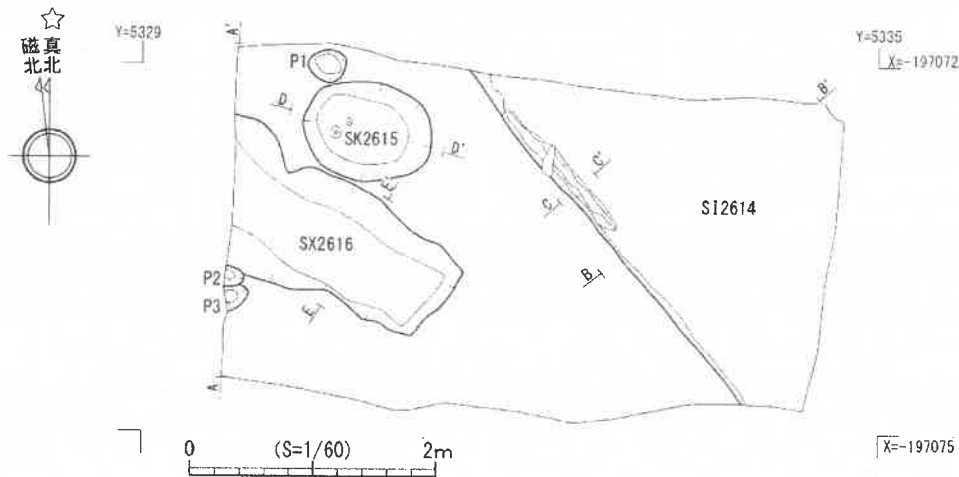
調査期間 令和 4 年 10 月 27 日～11 月 2 日

調査原因 個人住宅建築に伴う発掘調査

調査面積 約 15.6 m²

2. 調査概要

調査地点は I 期官衙の北辺および方四町 II 期官衙北部に位置する。検出遺構は竪穴遺構 1 基、土坑 1 基、性格不明遺構 1 基である。検出された竪穴遺構 (SI2614) はその方位から I 期官衙に属する可能性があるがカマドや炉跡等の施設は確認されていないため、その機能については不明である。また SX2616 からは I 期官衙に位置付けられる須恵器の小型坏がほぼ完形で出土した。I 期官衙北部は区画施設を伴う雑舎地区が展開しているが、その区画外の北辺周辺での調査事例は少なく不明な部分が多いが、周辺では第 19 次調査で竪穴住居跡 (SI79) が検出されている。



第 324 次調査 平面図

郡山遺跡第 325 次調査

1. 調査要項

調査地点 仙台市太白区郡山5丁目地内

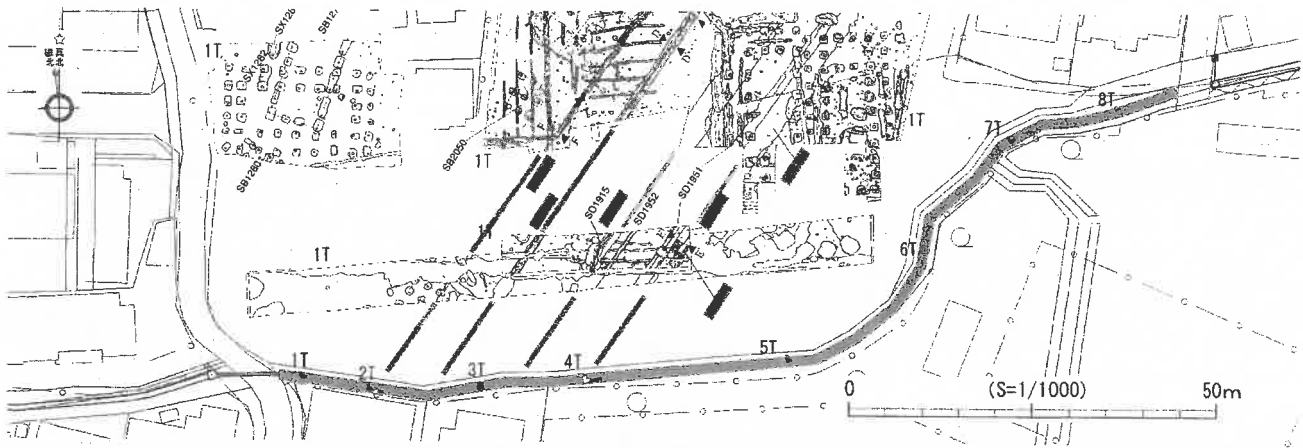
調査期間 令和4年12月12日～12月14日

調査原因 史跡地内の水路整備に伴う深さ確認調査

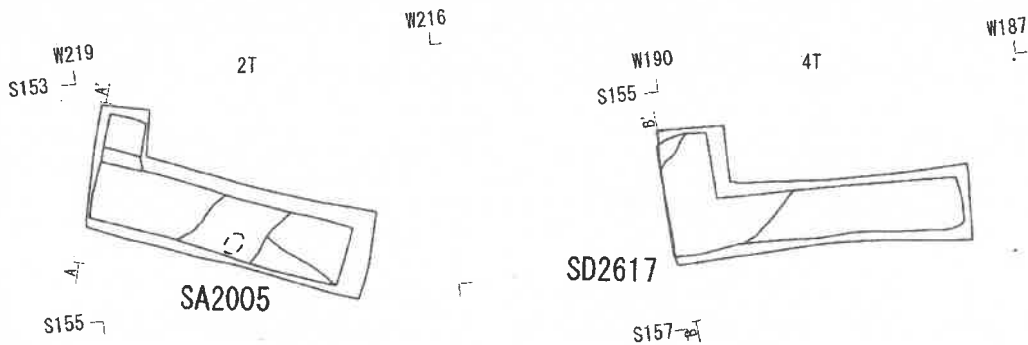
調査面積 7m²

2. 調査概要

調査地点は史跡指定地であり、Ⅱ期官衙南方官衙西地区およびⅠ期官衙東辺上に位置する。調査区周辺は大雨時に道路の冠水が頻発し、以前より地域住民から水路整備を求められていた。そのため、水路工事の着手前に遺跡に影響を与える掘削深度を確認するための発掘調査を実施した。検出遺構は材木列跡1列、溝跡1条、ピット1基である。検出された材木列跡 (SA2005) と溝跡 (SD2617) はそれぞれⅠ期官衙東辺の区画施設と推定される。これまでの調査でⅠ期官衙東辺は3時期の変遷があったことが確認されており、本調査区でも確認された。



調査区配置図



第 325 次調査 平面図

郡山遺跡第 326 次調査

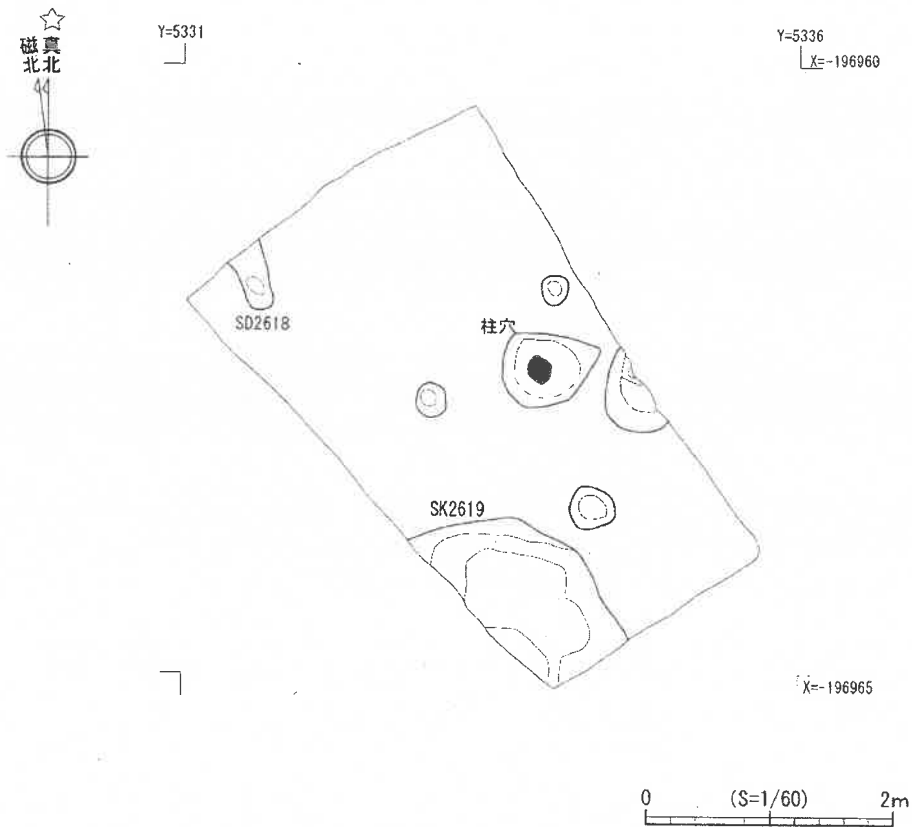
1. 調査要項

調査地点 仙台市太白区郡山三丁目 126-6
調査原因 個人住宅建築に伴う発掘調査

調査期間 令和 4 年 12 月 12 日～12 月 16 日
調査面積 10 m²

2. 調査概要

調査地点は方四町Ⅱ期官衙北部に位置する。検出遺構は土坑 1 基、性格不明遺構 1 基、柱穴 1 基等である。検出された柱穴は一辺 60～70 cm と比較的規模が大きく調査区外へ展開する掘立柱建物跡になる可能性がある。



第 326 次調査 平面図

郡山遺跡第319次調査

1. 調査要項

調査地点 仙台市太白区郡山三丁目

調査期間 令和4年5月16日～7月21日

調査原因 史跡整備のための範囲確認調査

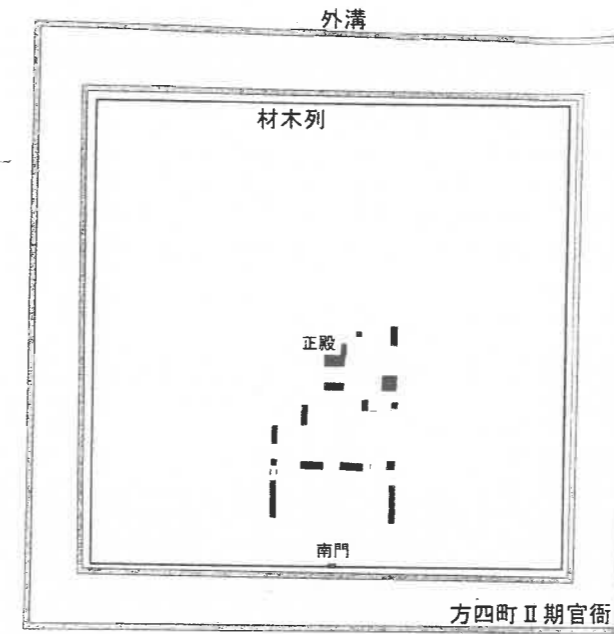
調査面積 約200㎡(1区:175㎡、2区:25㎡)

2. 調査概要

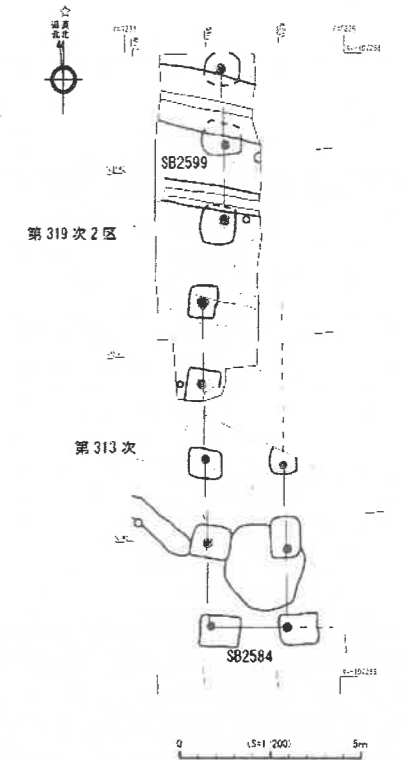
調査地点は方四町Ⅱ期官衙中枢部に位置する。方四町Ⅱ期官衙中枢部における建物配置やその規模確認を目的として、これまで第55・102次調査で検出された中枢部東西棟建物跡の規模確認のための調査区(1区)と第313次調査で検出された廂付と想定される建物跡の規模を確認するための調査区(2区)を設定した。調査では掘立柱建物跡6棟、竪穴住居跡2軒、溝跡10条、土坑3基などが検出された。このうちⅠ期官衙に関連すると考えられる遺構はSD767溝跡等があり、Ⅱ期官衙に関連すると考えられる遺構はSB716A・B・1490A・B・SB2584・SB2599掘立柱建物跡、SD1512・2600溝跡等がある。

調査成果として、Ⅰ区では方四町Ⅱ期官衙の中軸線を基準として東西対称に配置されるSB716・SB1490掘立柱建物跡の桁行規模は同規模で、柱筋の方位もほぼそろっていることが確認された。2棟の建物跡が対称に配置され、その間は建物とほぼ同規模の空間があることが分かった。通路状遺構や門跡等この空間にどのような遺構があったか確認することが今後の課題である。

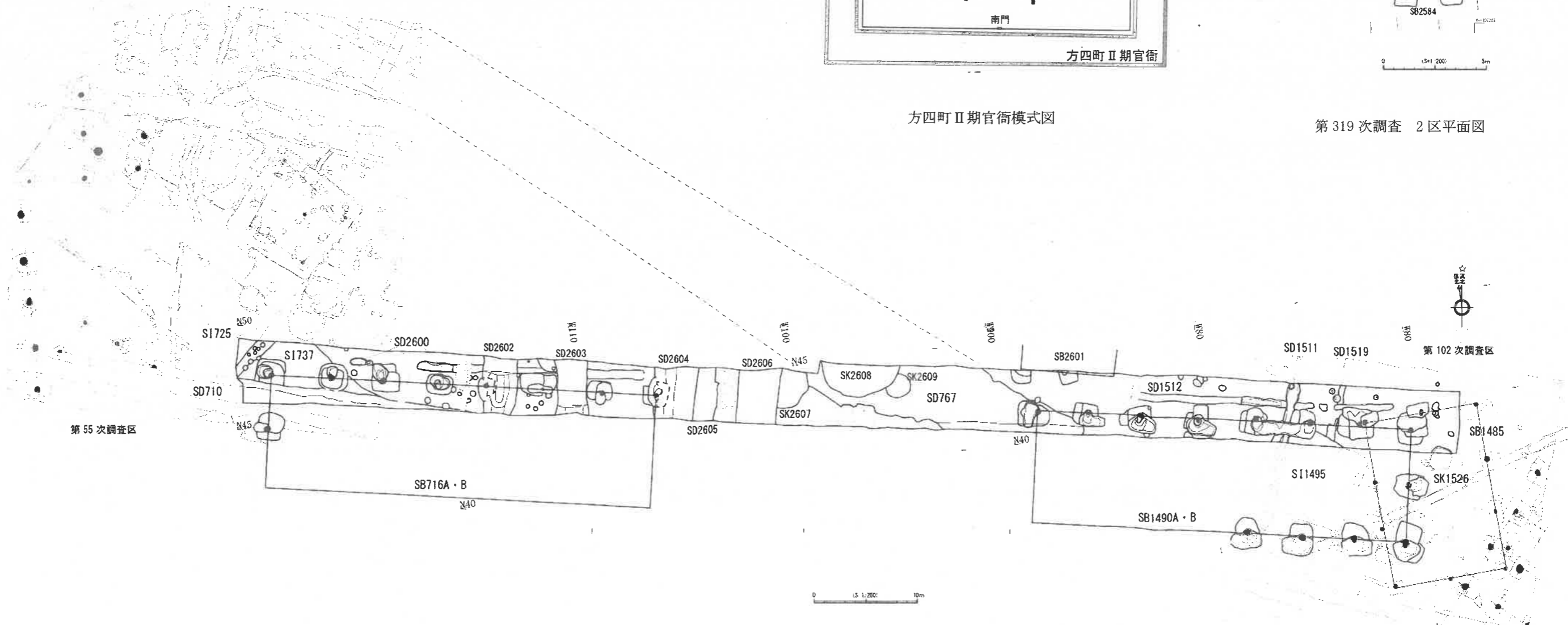
また、2区ではSB2584掘立柱建物跡の南北柱列が5基となることから、東西棟の建物で、南・北・西の3面廂の建物の可能性が出てきた。また、すぐ北側のSB2599掘立柱建物跡は2m程しか離れていないため、同時に存在せず、時期差があったと考えられ、その新旧の関係は確認できなかったが、改めて周辺もふくめたⅡ期中枢部の建物変遷について検討していく必要がある。



方四町Ⅱ期官衙模式図



第319次調査 2区平面図



第319次調査 1区平面図

陸奥国分寺跡第 32 次調査

1. 調査要項

調査地点 仙台市若林区木ノ下2丁目
 調査原因 史跡整備のための範囲確認調査

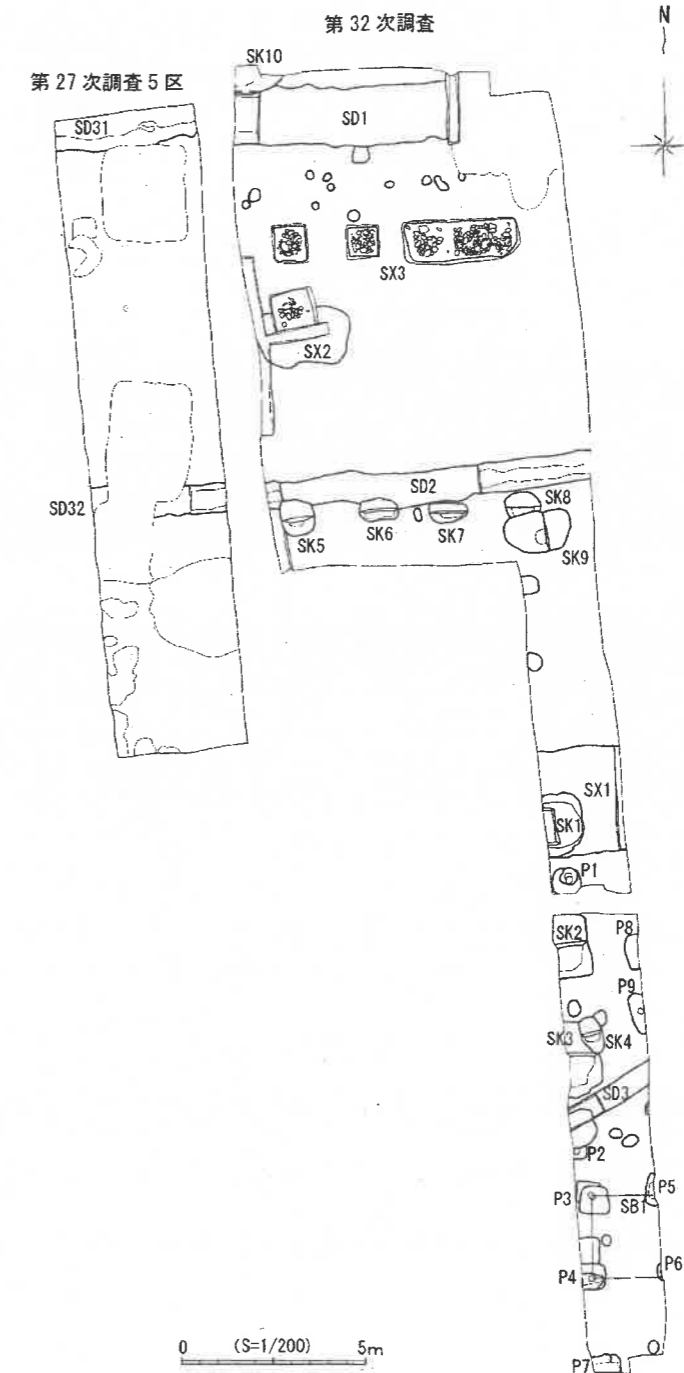
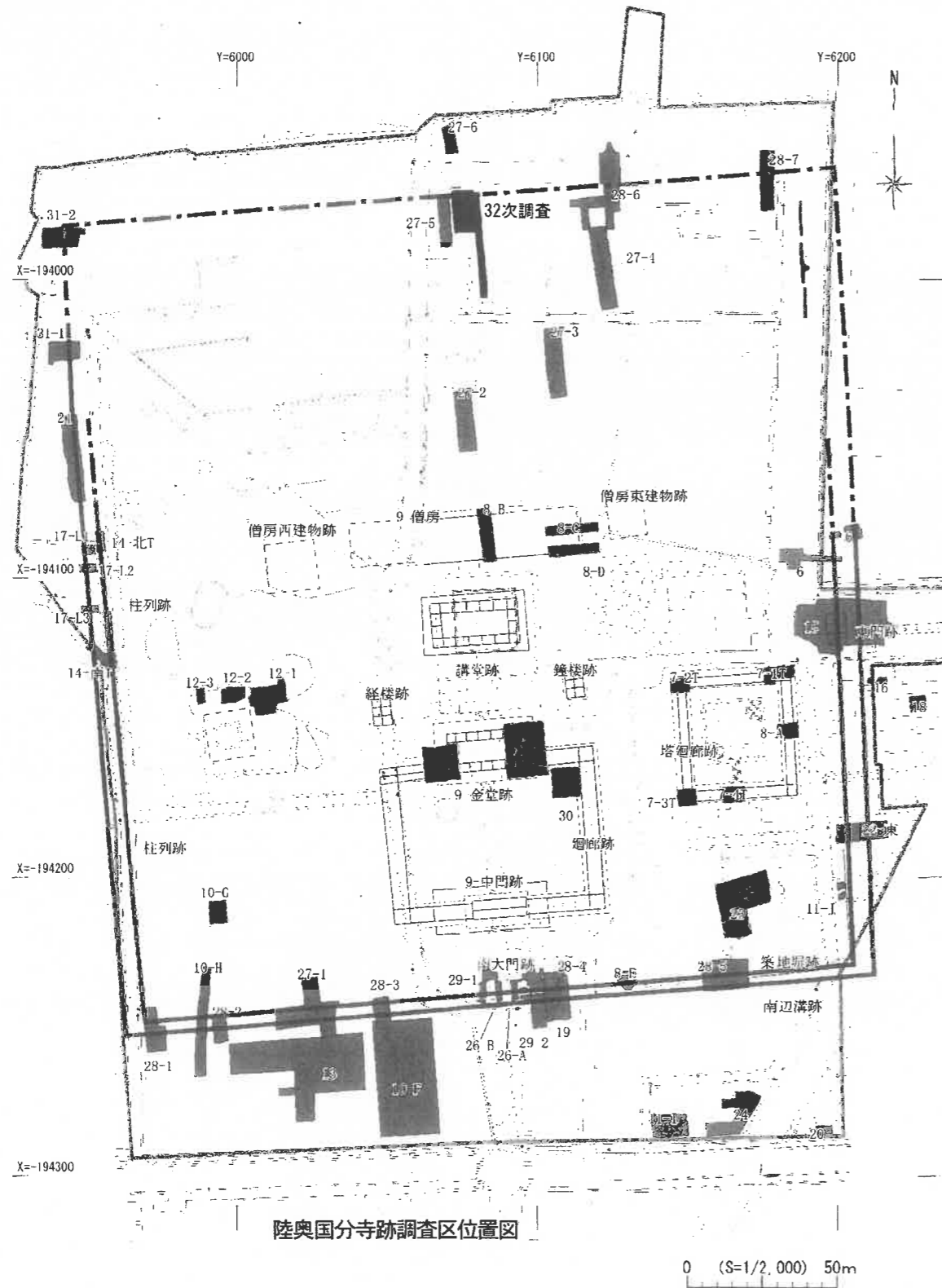
調査期間 令和4年10月9日～12月5日
 調査面積 約150㎡

2. 調査概要

調査地点は遺跡北部に位置する。未だ確定されていない寺地北辺の区画施設の検出を目的として調査区を設定した。南大門から僧房を結ぶ中軸線の北側延長上で、南大門から約240～270m(800～900尺)の周辺地点で、第27次調査5区と隣接する。調査区の規模は南北約50m、東西約10mの範囲である。調査では掘立柱建物跡1棟、溝跡3条、土坑10基などが検出された。

調査区北側で検出されたSD1溝跡は第27次調査5区のSD31溝跡と接続する遺構である。上幅1.6m、深さは60cmほどの規模を持ち、南辺区画溝と類似した規模、形状を呈している。今回の調査で一定の規模をもつ本遺構が寺地北辺の区画溝である可能性が出てきた。しかし、東・西・南辺では区画溝の内側に築地塀が確認されているのに対して、今回の調査区では検出されていない。また、南門延長上を調査したため、北門の存在が想定されたが検出されないことやSD1溝跡が開口している点等、まだ検討を要する部分がある。

また、調査区南側では柱穴が検出されている。調査区の制約上どのように展開していたか不明な点が多いが、何らかの施設が展開していた可能性がある。



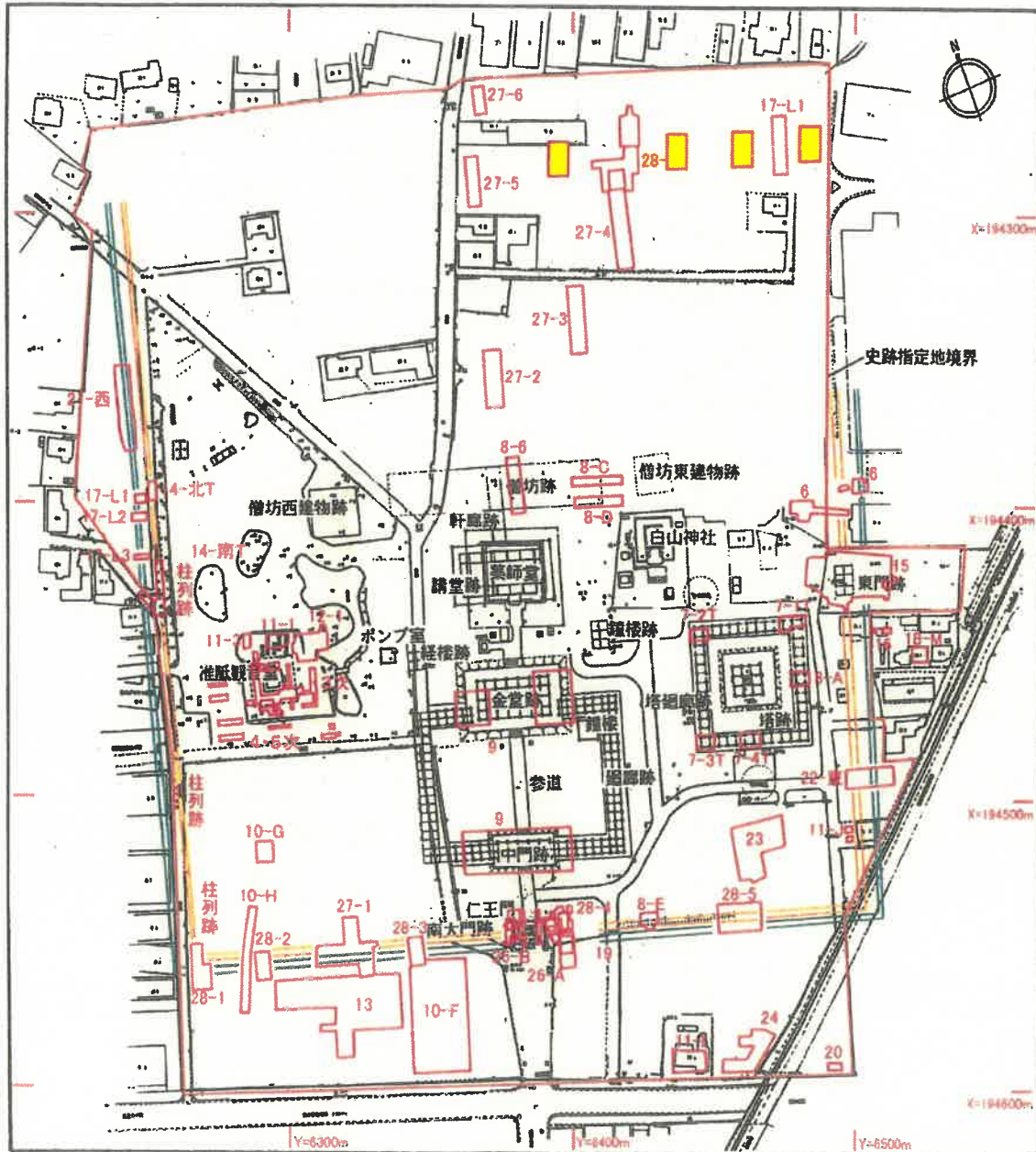
陸奥国分寺跡 第32次調査 平面図

令和 5 年度 郡山遺跡 発掘調査予定区 位置図



①・②…R5 年度調査予定地区
…指定境界線

令和5年度 陸奥国分寺跡 発掘調査予定区 位置図



...R5 年度調査予定地区
 ...指定境界線